

## 【概要】

近年の生命科学の進歩は著しく、多様化且つ専門化しています。薬学部学生を含め、医療系の学生には、その生命科学の最先端の知識を学び、理解することが求められています。そのためには、先ず、“生命科学の基礎”という土台を築くことが大切です。本科目では、前年度で履修した機能形態学に基づいて、疾患発生のメカニズムや予防・治療を理解するための基礎として、人体を構成する各器官の正常な構造と機能を学んでいきます。

## 【学修目標】

人体を構成する各器官の正常な構造と機能について理解し、説明できる。

## 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による